

【企画16：「私のリカバリーストーリー」からキーププログラムを考える：リカバリーカレッジ@名桜大学】 アンケート 令和7年度名桜大学看護実践教育研究センター

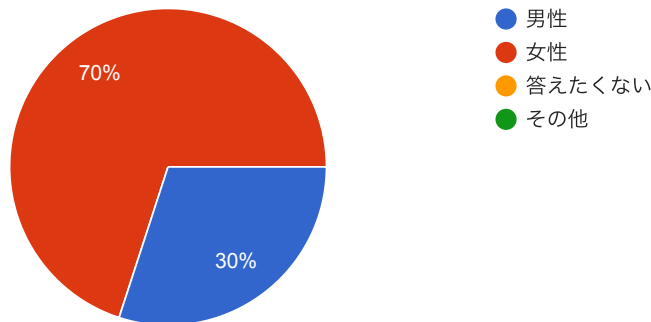
10 件の回答

[分析を公開](#)

1. あなたの性別について

[コピー](#)

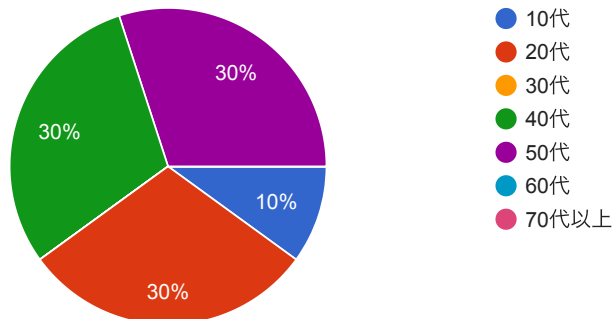
10 件の回答



2. 年齢層について

[コピー](#)

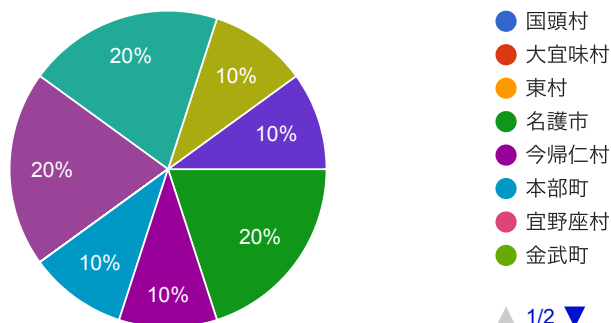
10 件の回答



3. あなたのお住まいについて（以下に該当のない場合は、その他にお住いの自治体名をご入力ください）

[コピー](#)

10 件の回答



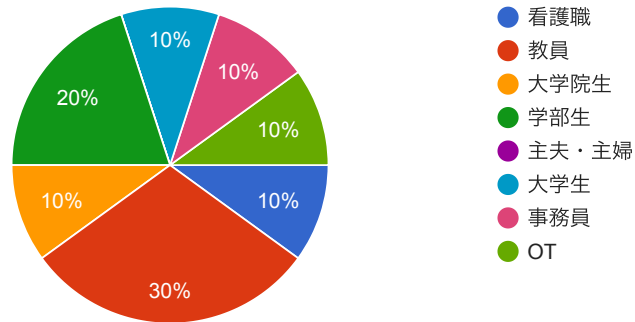
▲ 1/2 ▼



4. 職種について

 コピー

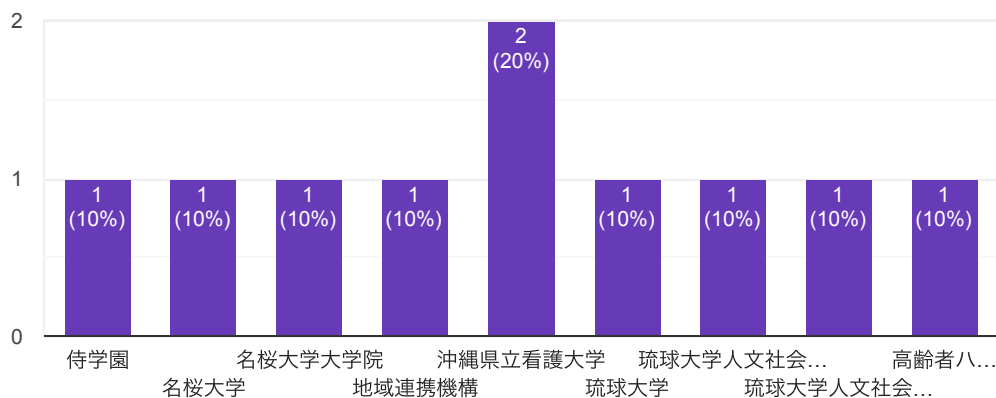
10 件の回答



5. 所属施設

 コピー

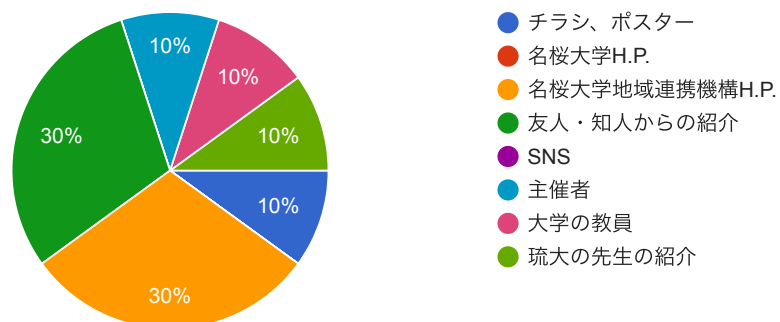
10 件の回答



6. 本企画が開催されることをどのようにして知りましたか？

 コピー

10 件の回答

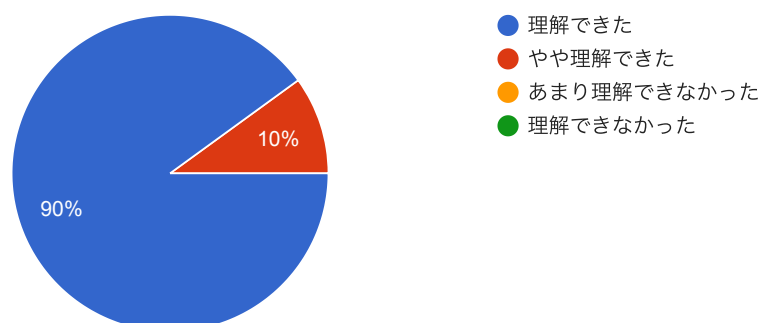


7. 参加した企画の理解度

 コピー

(理解できた～理解できなかった)

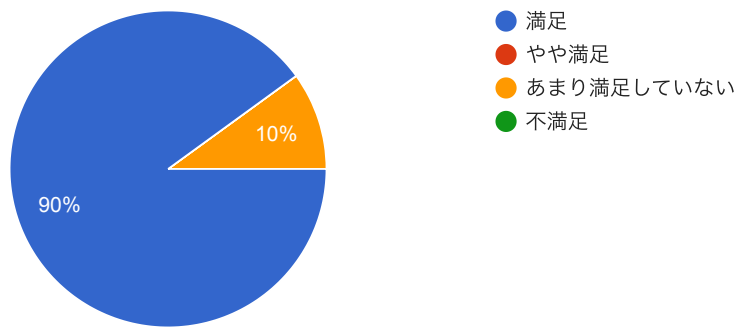
10 件の回答



8. 参加した企画の満足度 (満足～不満足)

 コピー

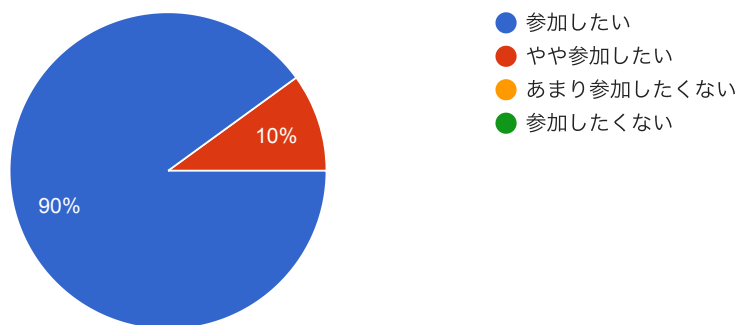
10 件の回答



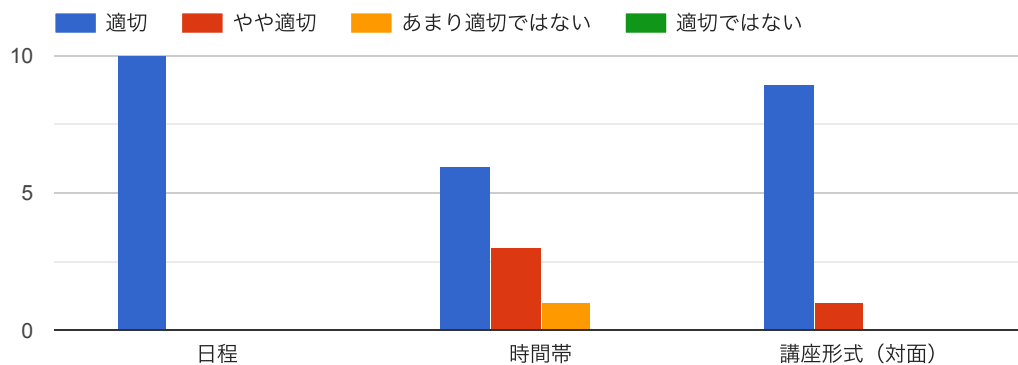
9. 今後、今回のテーマと関連した企画が開催されるとしたら参加したいと思いますか？ (参加したくない～参加したい)

 コピー

10 件の回答



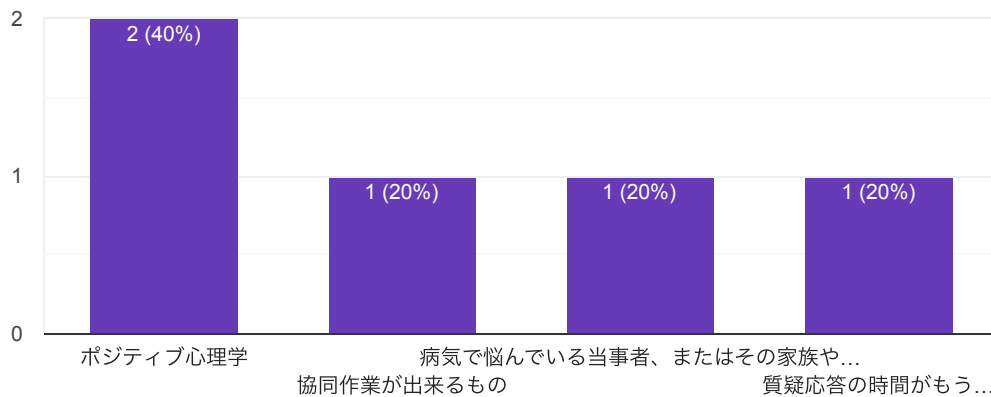
10. 参加した企画の開講日程・時間帯・形式などは適切だったと思いますか？ (適切でなかった～適切だった)

 コピー

1 1. 今後、開講してほしい講座（内容）等がありましたら、ご記入願います。



5 件の回答



1 2. その他、ご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

6 件の回答

学外での開催

今回は、リカバリー、リカバリーカレッジについて学ぶ機会をいただきありがとうございます。リカバリーについて、なんとなく知っていたことを一から学び直すことができ、非常に良い学びにつながりました。病棟で働いているときに、リカバリーをなかなか意識することができないことも多々ありましたが、それでも、リカバリーを歩む人々が自分の人生に希望を持ちながら歩いていくには、入院の時の関わりは非常に大きな役割を持つなと感じました。医療者としてできることはそれほど多くはないかもしれませんが、リカバリーを歩む人々が安心して歩むことができるような環境を整えたり、歩んでいるリカバリーと一緒に歩んでいけたらいいなと思いました。

リカバリーカレッジについての取り組みを、初めて知りました。知る権利・学ぶ権利を擁護するという考え方は、精神領域はもちろんですが、どの領域にも通ずると感じ、あらたな発見でした。講師の先生、企画してくださった先生方、ほんとうにありがとうございました。

名護まで本当にありがとう御座いました

リカバリーカレッジについての取り組みを、初めて知りました。知る権利・学ぶ権利を擁護するという考え方は、精神領域はもちろんですが、どの領域にも通ずると感じ、あらたな発見でした。目からウロコです。講師の先生、企画してくださった先生方、ほんとうにありがとうございました。

今回リカバリーについて初めて学ぶ機会を頂き、ありがとうございました。私は両親を病気で亡くしておりますが、講座のなかで先生がおっしゃっていた、お医者さんが治療を決めて、薬も決めて、詳しい説明なく進んでいくとお話を聞き、正に私達も言われる通りでした。それ以外の選択肢を考える余地がありませんでした。亡くして10年以上たって、ようやく病を作るのも治すのも自分自身だということが理解できるようになりました。リカバリー支援は、本人の責任、本人による選択、そして、一人一人の力が呼び覚まされる価値があるものだと思ったので、現在突破口がみえずに悩みの中にいる方の光となるお話しだと思うので、ぜひ沢山のの方に知って頂きたい内容だと思いました。私も家族や周りの友人など、リカバリーの考えを共有したいと思います。貴重なお話をありがとうございました。



※ご記入いただいた内容については、今後の企画開催に関する参考以外の目的には利用しません。ただし、一部HPに掲載させていただく場合があります。個人が特定されることはありません。
アンケートへのご協力ありがとうございました。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - [利用規約](#) - [プライバシー ポリシー](#)

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



